

「はさまれ」

子どもの手や足などがはさまれる事故が多発しています。

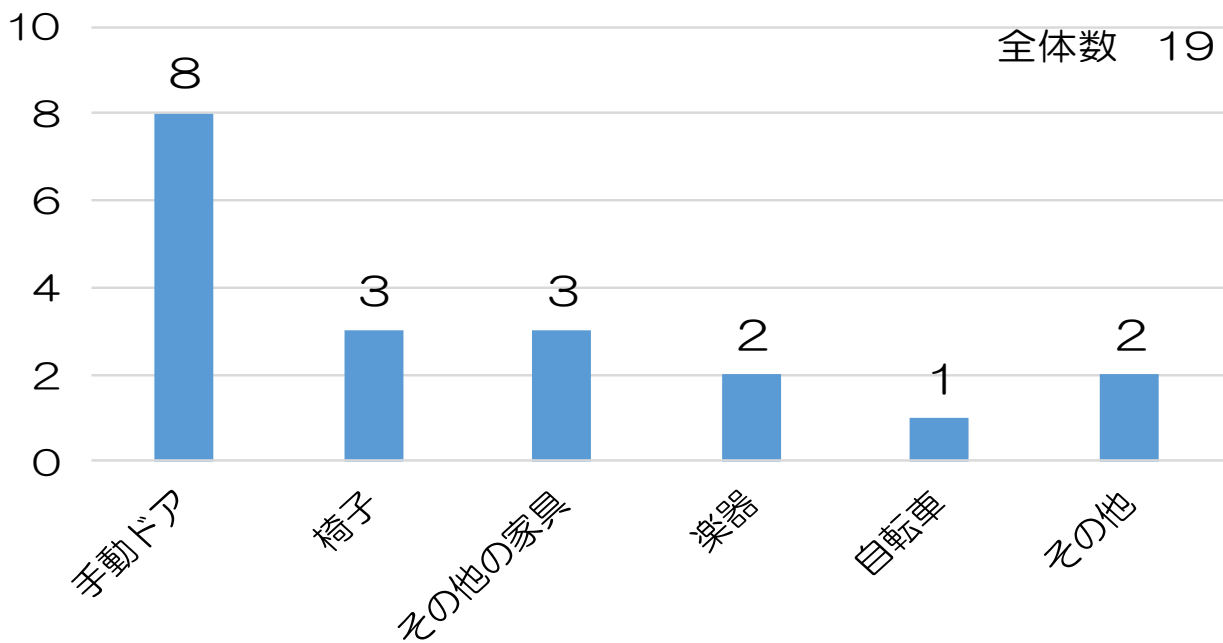
年齢 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位
0歳	手動ドア 5人	寝具類 4人	椅子、その他の家具 各2人		その他 各1人
	手動ドア 47人	エレベーター 8人	椅子 5人	自転車、その他の家具 各4人	
2歳	手動ドア 31人	エレベーター、自転車、鉄道車両の戸袋 各5人			窓、柵 4人
	手動ドア 37人	自転車 25人	自動車のドア、その他の玩具 各5人		椅子 3人

- ※ その他の家具とは、棚、引出し、タンス等をいう。
- ※ その他の玩具とは、万華鏡、おもちゃの電車のレール等をいう。
- ※ その他とは、ベビーカー、カバン、冷蔵庫等をいう。

図5 年齢別のはさまれ事故の原因上位5位
(令和2年中)



指等を切断する事故も発生しています。



- ※ その他の家具とは、タンス、棚等をいう。

図6 関連器物別 5歳以下の子どもの指の切断状況
(平成30年～令和2年中)

こんな事故が起きています！

【事例1】ドアで・・・

5歳の子どもがドアと縦枠の間に指を入れており、親がドアを開けた際にはさまり切断した（程度：軽症）。

【事例2】タンスで・・・

2歳の子どもが、友達とタンスの扉を開け閉めして遊んでいる際に、指をはさんで切断した（程度：中等症）。



このほかにも、電車のドアやエレベーターの戸袋、自転車のスポークなどにはさまれる事故が起きています。

「はさまれ」による事故を防ぐために

- ドアの開閉時は、子どもがどこにいるか確認しましょう。
- ドアの蝶番側は、指はさみ防止グッズなどでカバーしましょう。
- エレベーターやエスカレーター付近では遊ばせないようにしましょう。